



## 平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年11月1日

上場会社名 加賀電子株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 8154 URL http://www.taxan.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 門 良一  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 川村 英治 TEL 03-5657-0111  
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日 配当支払開始予定日 平成28年12月2日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	109,659	△10.8	3,212	△23.4	3,045	△31.2	3,111	5.7
28年3月期第2四半期	122,975	2.2	4,195	36.8	4,427	21.7	2,943	36.4

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 656百万円 (△67.5%) 28年3月期第2四半期 2,017百万円 (△34.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	110.11	—
28年3月期第2四半期	104.17	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	120,167	61,475	51.1
28年3月期	124,281	61,808	49.7

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 61,424百万円 28年3月期 61,764百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	20.00	—	35.00	55.00
29年3月期	—	25.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

28年3月期 期末配当金の内訳 普通配当20円00銭 特別配当15円00銭

29年3月期 中間配当金の内訳 普通配当20円00銭 特別配当 5円00銭

29年3月期 期末配当金の内訳 普通配当20円00銭 特別配当 5円00銭

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	230,000	△6.3	5,700	△26.8	6,400	△19.1	5,800	6.7	205.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(注) 連結範囲の変更を伴わない特定子会社の異動がありました。詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期2Q	28,702,118株	28年3月期	28,702,118株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	447,079株	28年3月期	446,824株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期2Q	28,255,145株	28年3月期2Q	28,255,854株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
(4) 追加情報 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 .....	6
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
（継続企業の前提に関する注記） .....	9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） .....	9
（セグメント情報等） .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策や日銀の金融政策を下支えに、個人消費の持ち直しや、雇用に改善の動きがみられましたが、中国をはじめとする新興国経済の減速や、英国のEU離脱問題などの海外情勢により円高が進行し、企業収益や設備投資への影響が懸念されるなど、景気は足踏み状態が続きました。

当社グループが属するエレクトロニクス業界におきましては、パソコンやスマートフォンなどのモバイル端末市場および遊技機器市場が低迷するなど厳しい状況で推移いたしました。一方、エレクトロニクス化が進む車載関連市場およびIoT（注1）、ビッグデータ、人工知能などの新市場は成長が見られました。

かかる環境の中で、当社グループは「すべてはお客様のために」という経営理念のもと、グループ内の事業統合や再編による経営の効率化を推進し、事業拡充に向け成長分野へ経営資源の積極的な投入を行いつつ、国内の既存大手顧客への拡販活動や海外ビジネスの拡大に努めてまいりましたが、主要顧客の生産調整や取扱商品の商流変更などの影響を受けました。

その結果、第2四半期連結累計期間における売上高は109,659百万円（前年同四半期比10.8%減）、営業利益は3,212百万円（前年同四半期比23.4%減）、経常利益は3,045百万円（前年同四半期比31.2%減）となり、また、親会社株主に帰属する四半期純利益は税効果会計の影響による法人税負担の軽減などにより3,111百万円（前年同四半期比5.7%増）となりました。

（注1）Internet of Thingsの略語。あらゆる物がインターネットを通じてつながることによって実現する新たなサービス、ビジネスモデル、またはそれを可能とする要素技術の総称。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

## ①電子部品事業（半導体、一般電子部品、EMS（注2）などの開発・製造・販売など）

電子部品事業は、国内外の主要顧客における生産調整やアミューズメント機器向けビジネスの低迷および半導体メーカーの代理店政策の変更により国内における半導体の取扱高が減少いたしました。その結果、売上高は82,784百万円（前年同四半期比13.6%減）となり、セグメント利益は2,366百万円（前年同四半期比37.0%減）となりました。

（注2）Electronics Manufacturing Serviceの略語。製品の開発・生産を受託するサービス。

## ②情報機器事業（パソコン、PC周辺機器、各種家電、写真・映像関連商品およびオリジナルブランド商品などの販売など）

情報機器事業は、販売キャンペーンの実施など営業活動を強化したことにより、パソコンやその他コンシューマ向け商品の取扱高が増加し、住宅向け関連商材の需要にも回復の動きが見られました。また、子会社の再編を行い経営の効率化を図りました。その結果、売上高は20,524百万円（前年同四半期比2.0%増）となり、セグメント利益は539百万円（前年同四半期比135.5%増）となりました。

## ③ソフトウェア事業（CG映像制作、アミューズメント関連商品の企画・開発など）

ソフトウェア事業は、アニメーションのCG制作やソフトの開発などに注力いたしました。その結果、売上高は1,442百万円（前年同四半期比26.8%増）、セグメント利益は307百万円（前年同四半期比6.6%増）となりました。

## ④その他事業（エレクトロニクス機器の修理・サポート、アミューズメント機器の製造・販売、スポーツ用品の販売など）

その他事業は、国内のアミューズメント業界向けゲーム機器事業やゴルフ用品販売事業が消費の落ち込みにより低迷いたしました。その結果、売上高は4,909百万円（前年同四半期比16.8%減）となり、セグメント損失は57百万円（前年同四半期はセグメント損失102百万円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産につきましては、120,167百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,113百万円の減少となりました。これは主に受取手形及び売掛金の減少によるものであります。

負債につきましては、58,692百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,780百万円の減少となりました。これは主に支払手形及び買掛金の減少と借入金の減少によるものであります。

純資産につきましては、61,475百万円となり、前連結会計年度末に比べ332百万円の減少となりました。これは主に為替変動に伴う為替換算調整勘定の減少によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物につきましては、25,683百万円（前連結会計年度末比3,804百万円の増加）となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、7,723百万円の収入（前年同四半期は4,344百万円の収入）となりました。これは主に売上債権の減少によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、246百万円の支出（前年同四半期は385百万円の収入）となりました。これは主に有形固定資産の取得によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、2,253百万円の支出（前年同四半期は1,614百万円の支出）となりました。これは主に配当金の支払と長期借入金の返済によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の連結業績予想につきましては、平成28年10月24日の「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想より変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動には該当しておりませんが、第1四半期連結会計期間において、当社連結子会社の加賀ソルネット株式会社と加賀ハイテック株式会社が加賀ソルネット株式会社を存続会社として合併したため、加賀ソルネット株式会社が当社の特定子会社に該当しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	22,516	26,055
受取手形及び売掛金	54,795	47,835
有価証券	166	165
商品及び製品	14,898	14,767
仕掛品	266	426
原材料及び貯蔵品	4,010	4,121
繰延税金資産	849	1,235
その他	4,638	3,999
貸倒引当金	△179	△166
流動資産合計	101,961	98,439
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,112	4,928
機械装置及び運搬具(純額)	1,992	1,810
工具、器具及び備品(純額)	813	717
土地	4,138	4,127
建設仮勘定	0	—
有形固定資産合計	12,058	11,584
無形固定資産		
のれん	495	450
ソフトウェア	422	401
その他	85	79
無形固定資産合計	1,003	931
投資その他の資産		
投資有価証券	6,519	6,318
繰延税金資産	257	480
差入保証金	739	716
保険積立金	916	922
その他	1,931	1,758
貸倒引当金	△1,107	△985
投資その他の資産合計	9,257	9,211
固定資産合計	22,319	21,727
資産合計	124,281	120,167

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	36,858	35,994
短期借入金	6,295	5,527
未払費用	3,311	3,149
未払法人税等	995	796
役員賞与引当金	185	102
その他	3,523	2,698
流動負債合計	51,169	48,268
固定負債		
長期借入金	6,007	5,293
繰延税金負債	1,246	1,162
役員退職慰労引当金	1,211	1,193
退職給付に係る負債	1,774	1,780
資産除去債務	142	139
その他	919	854
固定負債合計	11,303	10,423
負債合計	62,472	58,692
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	12,133	12,133
資本剰余金	13,912	13,912
利益剰余金	35,195	37,317
自己株式	△539	△539
株主資本合計	60,702	62,824
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	681	546
繰延ヘッジ損益	4	△6
為替換算調整勘定	713	△1,645
退職給付に係る調整累計額	△338	△294
その他の包括利益累計額合計	1,061	△1,399
非支配株主持分	44	50
純資産合計	61,808	61,475
負債純資産合計	124,281	120,167

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	122,975	109,659
売上原価	105,983	94,486
売上総利益	16,991	15,172
販売費及び一般管理費	12,796	11,959
営業利益	4,195	3,212
営業外収益		
受取利息	38	24
受取配当金	70	71
受取手数料	113	114
その他	160	124
営業外収益合計	382	335
営業外費用		
支払利息	58	66
為替差損	44	415
その他	47	20
営業外費用合計	150	502
経常利益	4,427	3,045
特別利益		
固定資産売却益	2	13
投資有価証券売却益	1	2
事業譲渡益	—	89
特別利益合計	3	105
特別損失		
固定資産除却損	4	6
投資有価証券売却損	—	31
投資有価証券評価損	4	—
事業構造改善費用	13	11
ゴルフ会員権評価損	—	11
特別退職金	15	—
その他	0	0
特別損失合計	39	60
税金等調整前四半期純利益	4,392	3,090
法人税、住民税及び事業税	1,100	688
法人税等調整額	355	△717
法人税等合計	1,455	△29
四半期純利益	2,936	3,119
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,943	3,111
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△6	7



(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△154	△134
繰延ヘッジ損益	△29	△11
為替換算調整勘定	△703	△2,360
退職給付に係る調整額	△31	43
その他の包括利益合計	△919	△2,462
四半期包括利益	2,017	656
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,024	649
非支配株主に係る四半期包括利益	△7	6

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	4,392	3,090
減価償却費	764	743
のれん償却額	106	44
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△326	△13
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	23	△0
受取利息及び受取配当金	△109	△96
支払利息	58	66
投資有価証券評価損益 (△は益)	4	—
売上債権の増減額 (△は増加)	2,766	5,320
たな卸資産の増減額 (△は増加)	1,178	△1,108
未収入金の増減額 (△は増加)	237	△33
前渡金の増減額 (△は増加)	△514	115
仕入債務の増減額 (△は減少)	△3,430	759
未払費用の増減額 (△は減少)	△149	△44
未収消費税等の増減額 (△は増加)	367	173
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△26	67
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	303	△442
その他	△66	△89
小計	5,580	8,552
利息及び配当金の受取額	112	96
利息の支払額	△57	△65
法人税等の支払額	△1,283	△852
その他	△7	△6
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,344	7,723
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△701	△535
有形固定資産の売却による収入	320	93
無形固定資産の取得による支出	△144	△71
投資有価証券の取得による支出	△160	△149
投資有価証券の売却による収入	61	175
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	8	—
短期貸付けによる支出	△3	△1
保険積立金の解約による収入	375	2
差入保証金の差入による支出	△4	△5
差入保証金の回収による収入	71	15
その他の支出	△32	△343
その他の収入	595	571
投資活動によるキャッシュ・フロー	385	△246
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△145	△476
長期借入金の返済による支出	△714	△714
配当金の支払額	△705	△987
その他	△49	△74
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,614	△2,253
現金及び現金同等物に係る換算差額	△325	△1,419
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,790	3,804
現金及び現金同等物の期首残高	17,569	21,879
現金及び現金同等物の四半期末残高	20,360	25,683

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注)2
	電子部品 事業	情報機器 事業	ソフトウェア 事業	その他 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	95,815	20,120	1,136	5,901	122,975	—	122,975
セグメント間の内部 売上高又は振替高	422	310	1,705	920	3,358	△3,358	—
計	96,238	20,431	2,842	6,822	126,333	△3,358	122,975
セグメント利益又は 損失(△)	3,755	229	288	△102	4,170	24	4,195

(注)1. セグメント利益の調整額24百万円には、セグメント間取引消去63百万円、のれんの償却額△38百万円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注)2
	電子部品 事業	情報機器 事業	ソフトウェア 事業	その他 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	82,784	20,524	1,442	4,909	109,659	—	109,659
セグメント間の内部 売上高又は振替高	511	261	1,041	1,584	3,399	△3,399	—
計	83,295	20,786	2,483	6,493	113,059	△3,399	109,659
セグメント利益又は 損失(△)	2,366	539	307	△57	3,156	56	3,212

(注)1. セグメント利益の調整額56百万円には、セグメント間取引消去56百万円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。